



# 但馬水産技術センターだより



## 漁況情報 (G1408号)

平成26年10月30日

兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### 平成26年漁期ズワイガニ漁況の見通しについて

調査船「たじま」の調査結果などから見た今期のズワイガニ漁況の見通しについて報告します。

#### 1. 今漁期の見通し

- ①解禁直後(但馬沖漁場):主に解禁直後に利用される但馬沖漁場のズワイガニ資源量は、オスガに(硬ガに)、メスガにともに前年を上回っていると見られ、漁獲量も前年を上回る可能性がある。メスガにの漁場は 235~245m に形成され東部で若干浅い傾向がある。
- ②漁期全般(浜田沖~丹後沖漁場):本県沖底船の主漁場となる浜田沖~丹後沖漁場のズワイガニ資源量は前年をやや下回っていると見られ、漁獲量も前年並みか前年をやや下回る可能性がある。

#### 2. 根拠となった情報

##### ① 但馬沖漁場

###### 調査船「たじま」によるトロール漁期前調査(調査月:10月)

調査船「たじま」により、平成26年10月8~24日に、香住沖の水深200~350mおよび津居山沖・浜坂沖の水深235~245mに設けた計12点(図1)でトロール網(袖先間隔28m、3ノット、30分曳き)による試験操業を実施しました。

- ・オスガに(硬ガに):カニ漁解禁前の操業自粛水深帯である水深235~275mの範囲で多く入網しました。(表1、図2)全水深帯(200~350m)での1曳網当たり入網数は4.2匹で、前年(2.1匹)ならびに過去5年平均(2.0匹)を上回りました。(表2、図3)
- ・メスガに(クロコ):香住・浜坂沖では水深240~245m、津居山沖では水深235~240m付近で多く入網しました。(表1、図2)メスガに漁場(235~250m水深帯)での1曳網当たり入網数は75.4匹で、前年(51.0匹)ならびに過去5年平均(55.1匹)を上回りました。(表2、図3)。
- ・ミズガに:水深200mを中心に、脱皮後のミズガにと脱皮前の個体(フタカワ、モモ、ブラ)が入網しました。全水深帯での1曳網当たり入網数は8.7匹で、前年(21.8匹)および過去5年平均(14.9匹)を下回りました。(表1、2、図2)

##### ② 浜田沖~丹後沖漁場

水研センター調査(調査月:5-6月) (独)水産総合研究センター日本海区水産研究所は、現在A海域(富山県以西)におけるズワイガニの資源は減少傾向にあるとし、平成26年漁期当初の資源量について、オスガに、メスガに、ミズガにともに前年を下回ると推定しています。(図4、5)

#### 3. その他の情報

- ・現在甲幅5~6cmの若齢ガには比較的数量が多く、順調にいけば平成28年から漁獲対象になって来ると考えられます。これらが大量に入網する海域では操業の自粛を心掛けて下さい。
- ・アカガレイの入網が各水深帯とも少なくなっています。
- ・エチゼンクラゲは全く入網しませんでした。
- ・標識や発信機を付けたカニを再捕された方は、当センターまたは最寄りの漁協までご報告願います。

お問い合わせ先:兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター (担当:大谷)

TEL:0796-36-0395 FAX:0796-36-3684

E-mail:nouringc\_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ:http://hyogo-suigi.jp/tajima/

資料①  
(但馬沖)

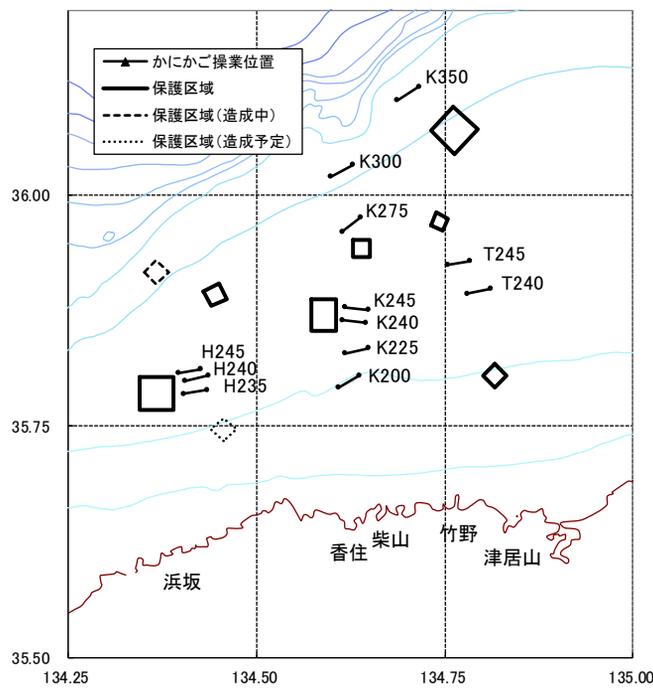


図1 但馬沖調査海域図

表1 操業点別のズワイガニ等入網状況

漁場	年月日	操業点	曳網水深 (m)	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	海底 水温*4 (°C)
				オス*1	ミス*2	メス*3		
津居山・ 竹野沖	2014/10/21	T245	246→246	16	3	1	1.0	2.1
	"	T240	237→235	2	1	48	1.0	2.3
香住沖	2014/10/24	K350	348→347	1	2	0	0.4	0.8
	"	K300	307→311	3	1	0	0.0	0.9
	2014/10/21	K275	279→282	9	6	0	7.1	1.1
	2014/10/17	K245	246→239	6	0	157	0.0	1.9
	"	K240	242→233	9	1	43	0.4	1.9
	"	K225	223→222	3	8	1	1.3	2.3
浜坂沖	2014/10/8	H245	246→243	9	0	142	13.8	1.8
	"	H240	241→241	13	0	116	22.0	1.8
	"	H235	235→234	13	1	47	8.7	1.9

表2 曳網当たり入網匹数の前年および過去5年平均との比較

水深帯	漁場	調査年	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	平均海底 底水温*4 (°C)	備 考
			オス*1	ミス*2	メス*3			
全水深帯 (200-350m平均)	但馬沖 (平均)	過去5年平均	2.0	14.9	9.4	9.9	1.6	350m欠
		2013年	2.1	21.8	11.0	9.9	1.4	
		2014年	4.2	8.7	12.7	2.4	1.6	
メス漁場水深帯 (235-250m平均*5)	但馬沖 (平均)	過去5年平均	4.2	2.3	51.0	16.9	1.8	
		2013年	4.4	3.6	55.1	11.7	1.4	
		2014年	9.4	0.9	75.4	5.4	2.0	

\*1 硬がに(甲幅9cm以上・硬甲・ハサミ大) \*2 11齢(二皮)と硬がに以外の12・13齢  
\*3 漁期中にクロコになる個体 \*4 漁網監視装置より \*5 但馬沖ではメスはこの水深帯に集中分布。

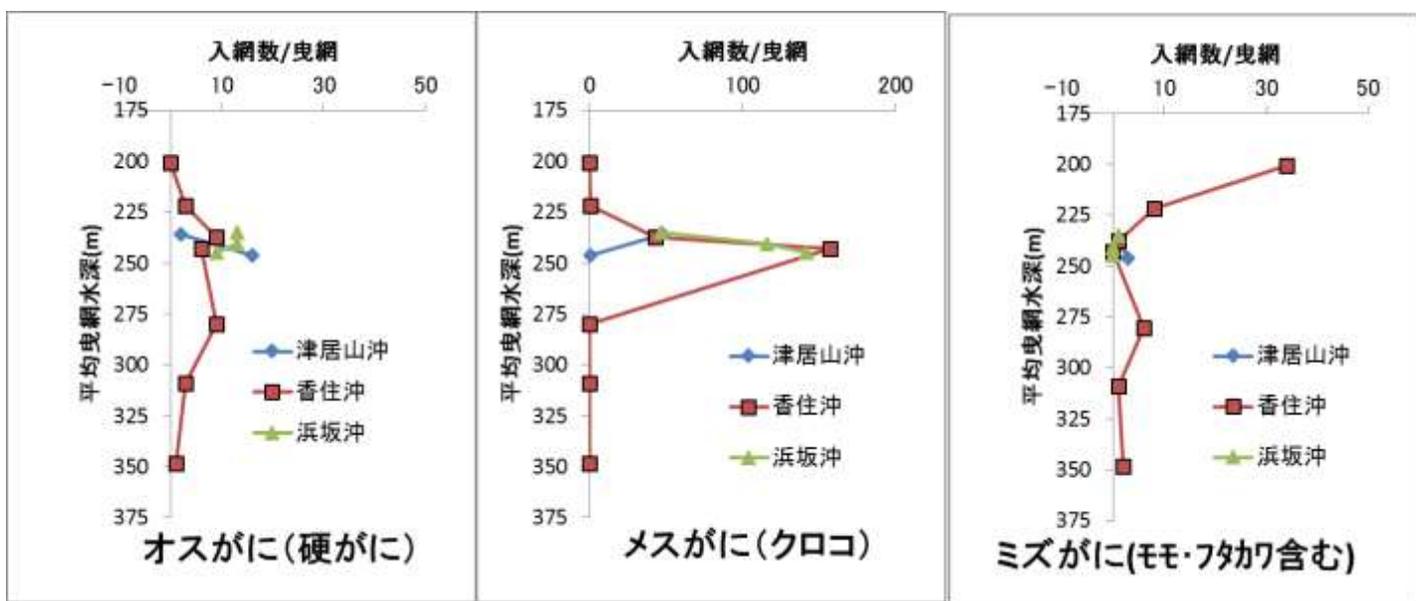


図2 平均曳網水深と入網数(但馬沖)

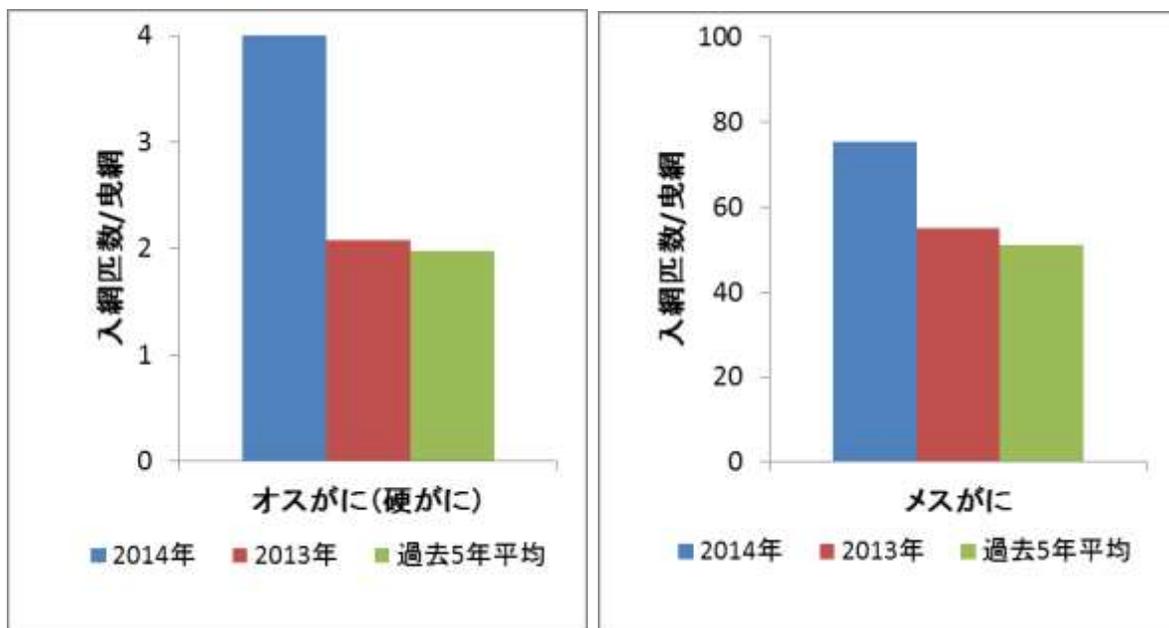


図3 平均入網匹数の過去との比較(但馬沖)  
(メスガに: 235-250m平均、オスガに: 全水深帯平均)

資料②  
(日本海西部海域)

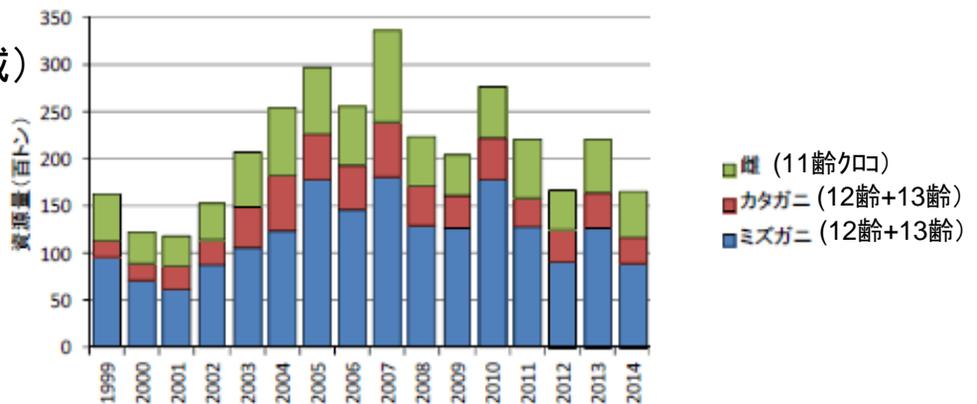


図4 漁期開始時点における推定資源量  
(日本海西部海域)

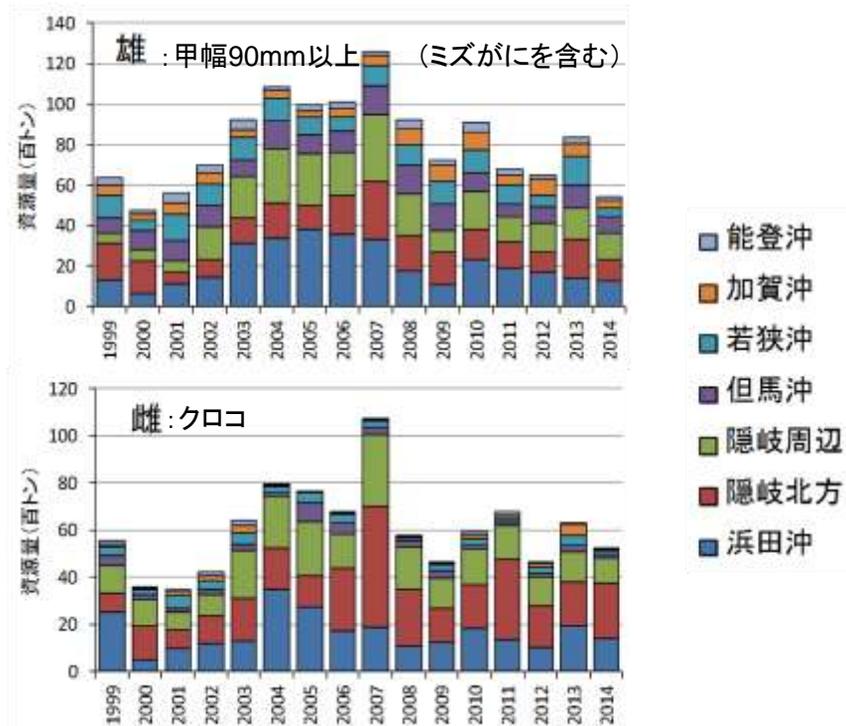


図5 小海区別 推定漁獲対象資源量

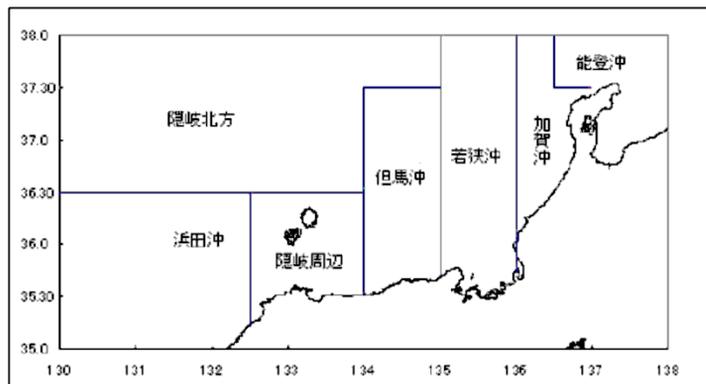


図6 小海区分